



P2 群馬県孤独・孤立対策支援者向け研修会の様子

CONTENTS

- P2** ◆ 年頭のごあいさつ
◆ 群馬県孤独・孤立対策支援者向け研修会
◆ “つながる”研修会のご案内

- P3** ◆ 企業等SDGs（福祉分野）活動支援センターの取り組みについて

P4・5 TOPICS

- 介護の日・福祉の仕事フェア
- 群馬県社会福祉功労者表彰式
- 雇用・労働分野の助成金のご案内

- P6** ◆ 能登半島地震
災害ボランティアセンター派遣活動報告会
◆ 県社協会員紹介

- P7** ◆ まちの社協レポート
～板倉町社協～

P8 INFORMATION

- ぐんまボランティアフォーラム
- 福祉バスのご案内
- あすなろ祭
- 労働局からの制度改正

ホームページは
下記からアクセス
してください。





企業等SDGs(福祉分野)活動支援センター の取り組みについて

本会では、企業の福祉活動のサポートや福祉機関等とのマッチングを行う**企業等SDGs(福祉分野)活動支援センター**を設置運営するなど、地域福祉課題とビジネスを繋ぐハブ機能構築に向けて取り組んでいます。

1 包括連携・災害時等の協定を締結

- ・地域づくりや災害支援を目的とした協定を締結しています
- ・相互連携と協働による活動を推進することにより、地域の諸課題に迅速かつ適切に対応しています

※ 協定締結先一覧



協定締結式の様子 (R6.11.25)

2 SDGsぐんまビジネスプラクティスに選定

- ・本センターの取り組みがSDGsぐんまビジネスプラクティスとして選定されました
- ・これにより、県ホームページをはじめ、事例集(冊子)、SNS等の媒体に掲載され、県内外に広く周知されます



<SDGsぐんまビジネスプラクティスとは>

県では、SDGsに関連した県内事業者の先進的取組をビジネスプラクティス(先進的・優良な取組)として募集しています。SDGsに取り組む事業者の事業活動を後押しするほか、他の事業者がSDGs関連のビジネスに取り組むきっかけをつくっています。

3 福祉と企業のSDGs情報交換会を開催

- ・地域における様々な福祉的な課題についての共有化を図り、今後、福祉と企業が連携して課題解決に向けて取り組む方策等について情報交換を行いました
- ・地域貢献を志す多くの企業にご参加いただき、地域福祉活動とのマッチングや今後の連携に向けたきっかけづくりとなりました



情報交換会の様子 (R6.11.20)

4 SDGs・社会貢献セミナーを開催します

- ・企業が持つリソースを活かし、福祉と連携する具体的な方法を学びます
- ・セミナーを通じて、企業活動が地域社会の福祉にどう貢献できるかを検討します

日時 令和7年1月22日(水) 13:30~15:40

会場 群馬県社会福祉総合センター 8階 大ホール
※オンライン併用(Zoom)

参加申込 申込締切 令和7年1月15日(水)

申込フォーム▶



～ 企業等SDGs(福祉分野)活動支援センターへの登録をお願いします ～

- ・登録いただいた企業様へは、以下の活動支援を行います

① マッチング支援

企業等が希望する活動と地域における福祉活動や福祉関係者、団体等とのマッチングを行います。

② 相談支援

どのようなことをしたらいいのかわからない企業等を対象にした相談窓口を設置し、福祉活動に関してサポートを行います。

③ 情報発信・情報提供

企業等向けの福祉に関するセミナーや情報交換会を開催します。また、企業等の福祉活動の情報発信や啓発活動を行います。



登録フォーム

問い合わせ先 地域福祉課 027-255-6032

年頭のこあいらび



社会福祉法人
群馬県社会福祉協議会
会長 川原 武男



あけましておめでとうございます。

昨年の年明けに発生した能登半島地震は、甚大な被害をもたらしましたが、本県においては、発災直後から、災害派遣福祉チーム(ぐんまDWA)を1・5次避難所に、また、現地に設置された災害ボランティアセンターには、県内市町村社協職員の皆様を派遣し、支援にあたっていただきました。

長期間にわたり、被災者に寄り添った活動を展開いただいた多くの職員の皆様、派遣にご理解・ご協力を賜りました関係者の皆様に厚く御礼申し上げます。

被災地では追い打ちをかけるように9月に豪雨災害が発生し、一年経過した今なお支援活動が継続されています。現地の一刻も早い復旧・復興を心よりご祈念申し上げます。

今年も、私も福祉関係者にとって、「2025年問題」といわれてきた、団塊の世代がすべて75歳以上の後期高齢者となる大きな節目の年です。

今後は、高齢者人口がピークを迎え現役世代が急減する2040年を見据え、皆様との連携をより一層強化して、孤独・孤立対策をはじめ「誰一人取り残されない地域共生社会」の実現に向けた取組を加速化して参りますので、今年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

群馬県孤独・孤立対策支援者向け研修会を開催しました

令和6年12月2日(月)群馬県市町村会館にて、孤独・孤立を感じている当事者等への支援を行う人材の確保、養成及び資質の向上を図るとともに、顔の見える関係作りを構築するため、研修・交流会を開催し、91名の参加をいただきました。

基調講演では、内閣府孤独・孤立対策推進参与の大西連氏より「孤独・孤立の現状と対策の方向性」と題し、様々な分野の関係者が協働する重要性について説明をいただきました。講演後は、実践報告、交流会を実施し、支援に関わる方同士の連携・協働に向けて貴重な機会となりました。



講師 大西連氏



実践報告の様子

群馬県孤独・孤立支援
ポータルサイト
活動紹介



群馬県孤独・孤立対策
官民連携プラットフォーム
会員募集



2/9 ぐんまの子ども・若者支援ネットワーク“つながる”研修会のご案内

ひきこもり支援の実践者による基調講演を通し、子ども・若者支援に関わる方々の資質向上を図り、支援者同士のさらなる連携・協働体制の推進を目指します。

日時: 令和7年2月9日(日) 13:30~15:45

会場: 群馬県社会福祉総合センター8階 大ホール

内容: 基調講演「誰もがつながり、生き(活き)がいを感じられる社会を目指して」

講師: 社会福祉法人一麦会(和歌山県和歌山市) 麦の郷ひきこもりステーション事業

ハートフルハウス創 センター長 野中 康寛氏

問い合わせ先 地域福祉課 027-255-6032



野中 康寛氏

申込フォーム



雇用・労働分野の助成金のご案内

群馬労働局では、雇用の安定や労働条件の改善に役立つよう、事業者様の支援につながる各種助成金の活用を推進しています。様々な助成金がありますので、ご検討ください。

① 雇用関係助成金 一雇用の安定のために

雇用の安定、職場環境の改善、仕事と家庭の両立支援、従業員の能力向上などにご活用いただけます。



(雇用関係助成金)

② 労働条件等関係助成金 一労働条件の改善のために

職場環境の改善、生産性向上に向けた取り組みなどにご活用いただけます。



(労働条件等関係助成金)

<助成金の活用例>

両立支援等助成金

両立支援等助成金は、仕事と育児・介護等の両立支援に取り組む事業主を支援する制度です。

育休中等業務代替支援コース

(代替要員を確保せずに業務見直し、周囲の社員が育児休業取得者の業務をカバーする場合)

課題：育児休業取得予定者が気兼ねなく休業を取得できるよう対策したい。

対応：業務代替者に対する賃金割増制度の整備

業務代替者に対する賃金の増額

成果：育児を支える職場環境が整備され、職場に気兼ねなく育児休業を取得できるようになった。

助成：助成額 35万円 (①業務体制整備経費5万円+②業務代替手当30万円)

4/1~7/31までの4か月間の育児休業のうち、4~6月の3か月にわたり5人が業務代替し、期間中に1人あたり1か月3万円手当(助成3/4)を支払った場合 ※10万円/月上限



(両立支援等助成金)

業務改善助成金

※令和6年度業務改善助成金は申請受付を終了(申請期限R6.12.27)しております。
令和7年度業務改善助成金が受付開始となりましたら申請が可能です。詳細は厚生労働省HPでご確認ください。

業務改善助成金は、事業場内で最も低い賃金を30円以上引き上げ、生産性向上に役立つ設備投資等を行った場合に、その設備投資等にかかった費用の一部を助成する制度です。

課題：利用者の入浴介助がすべて人力対応のため、労力や時間的負担が大きい。

対応：リフト浴設備の導入

成果：対応人員や時間的負担が軽減。職員の身体的負担も軽減し、

安心安全な入浴介助が可能になった。

助成：助成額：83万円(経費の9/10)

導入経費：92.3万円 賃金引上げ額：30円 対象労働者：5人



(業務改善助成金)



[導入したリフト浴設備]

活用者の声

介護クラブ株式会社 一期一会 代表取締役 山守千登世 氏

弊社デイサービスは一般浴しかないため、立位保持や移動が不安定な人の入浴は介護スタッフが大変苦勞しておりました。今回助成金を活用しリフト浴を導入したことにより介護労力や時間的負担が画期的に軽減しました。リフト浴は機械浴と違い、歩行は難しいが座位は保てる人に適しているため、弊社デイサービスでは安心安全な入浴が実施できるようになりました。何より、大規模工事が不要であり金額が安価で済んだこと、そして既存の一般浴に設置可能だったことが弊社にとって最大のメリットでした。

お問合せはこちら

群馬労働局 雇用環境・均等室

群馬県前橋市大手町2-3-1 前橋地方合同庁舎8階 TEL 027-896-4739



介護の日・福祉の仕事フェア

~それでも介護って、面白い~

11月2日(土)、群馬県庁昭和庁舎で介護の日・福祉の仕事フェア開催しました。



第1部 トークショー

介護系YouTuberのはたつんさんが出演!

大人気の「介護あるある」コーナーでは、群馬版のあるあるに対し、参加者の皆様とあるある?なしなし?のジャッジをしていただきました。

「おやつに焼きまんじゅう



あるある?

なしなし?

群馬の介護あるある (一例)

「レクで上毛かるたをやる」
「おやつに焼きまんじゅうが出る」等



相談&質問コーナーでは、介護職のやりがい・メンタルケアのことなど、参加者からの質問・相談についてお答えいただきました。

後半からは、前橋市内の11事業所も登壇!介護現場のリアルを話し合い、最後は会場全体で音楽体操を踊っていただきました。

第2部 就職相談会

前橋市内の11事業所がブースを出展!トークショーに興味を持って2部に来場してくださった方も多くいらっしゃいました。



人と人の繋がりの中でのお仕事である介護職。悩まされることも多いけど、励まされたり、元気をもらえること、思わず笑っちゃうような楽しい出来事も沢山ある。だから介護って面白い。つらいことも楽しいことも皆で共有しながら頑張っていこう!と、明日から頑張る元気をもらえるイベントとなりました。

1月18日(土)【伊勢崎・玉村】福祉の仕事フェア

会場 スマーク伊勢崎 スマークホール

内容 第1部(10時30分~12時) 保育・児童分野就職相談
第2部(13時30分~15時30分) 高齢・障害分野就職相談

その他、最新情報は公式LINE・Instagramをチェック!



令和6年度 群馬県社会福祉功労者表彰式を開催しました。

令和6年11月12日(火)群馬県庁昭和庁舎正庁の間にて「令和6年度群馬県社会福祉功労者表彰式」を開催しました。

今年度は、群馬県知事表彰200人と1団体、群馬県ボランティア顕彰30人と8団体、群馬県社会福祉協議会会長表彰・感謝388人と2団体、群馬県共同募金会会長表彰4団体が受賞され、式典では各部門の代表者に表彰状や感謝状が手渡されました。

受賞されました皆様の功績とご労苦を讃えますとともに、今後ますますのご活躍をお祈りいたします。



表彰式の様子

令和6年能登半島地震災害における 災害ボランティアセンター派遣活動報告会 兼協働型災害ボランティアセンター運営研修



講師 阿部由紀氏

令和6年11月19日(火)、県社会福祉総合センター(オンライン併用)において開催し、100名を超える方にご参加いただきました。

(社)BIGUP石巻の阿部由紀氏の講義では、東日本大震災当時、宮城県石巻市社協の職員として災害ボランティアセンター(以下、災害VC)運営の中心として携わったほか、今回の震災当初から現在まで石川県珠洲市に継続的に支援に入っている経験に基づき、事前の備えの大切さ、連携・協働の必要性を熱く語っていただきました。

その後、派遣活動を行った2名の県内社協職員、炊き出し支援を行ったNPO団体、被災地である輪島市社協からお話をいただきました。

社協職員の報告では、派遣先で被災状況が大きく違い、災害VC内で担う役割も異なる中で、臨機応変かつ被災地に寄り添いながら後方支援を行った経験を参加者と共有しました。

NPO団体の報告では、炊き出しを通じた避難者との交流について語られました。



活動報告会の様子

輪島市社協からの現状報告では、能登半島地震、奥能登豪雨で甚大な被害に遭われた現在のお気持ちを語っていただき、復旧・復興に向けた被災地の動きはまだまだ続くことを改めて感じる時間でした。

今回の活動報告兼研修を通じて、社協職員として一致団結して被災地支援を行うことを再確認するとともに、多分野との連携・協働を図ることが大切であることを確認しました。

まちの協社レポ

各市町村社協の取り組み、活動をレポートします

板倉町に「思いやり」の和をひろげよう！

「板倉町思いやり福祉サービス」の紹介です。

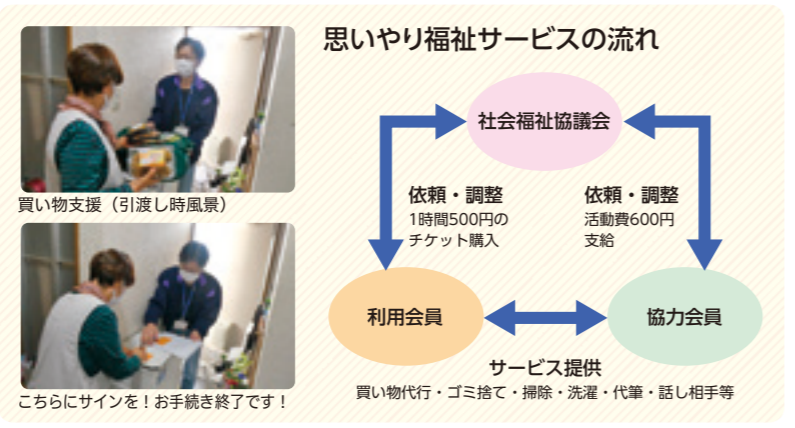
平成23年度から開始された板倉町社会福祉協議会独自の住民参加型サービス事業です。利用会員、協力会員と相互扶助を積極的に推進し、主に高齢者(介護保険適用外)及び障がい児(者)など日常生活において、少しの支援があれば安心して自宅で生活できるかたが対象です。

協力会員は、特に資格等は必要なく、心身ともに健康で、熱意をもって事業に協力できるかたならどなたでも入会する事ができます。

利用料は、一人につき1時間500円とし、社協で発行する利用券を購入してもらい、サービス提供の際に、協力会員に券を渡してもらいます。協力会員については、後日1000円を社協より負担して1時間につき600円をお支払いしています。

現在は、利用会員の幅を広げるための研究及び検討を重ねておりますが、子供から高齢者まで、様々な世代への「思いやり」の和がひろがる

よう継続して実施していきます！



社会福祉法人
板倉町社会福祉協議会

群馬県邑楽郡板倉町
大字板倉 3411-1417
TEL 0276-82-3900
FAX 0276-82-3759

板倉町
社会福祉協議会
ホームページ

令和6年度 社会福祉施設 総合損害補償 しせつの損害補償

インターネットで保険料試算できます
ふくしの保険 検索

老人福祉施設、障害者支援施設、児童福祉施設などにスケールメリットを活かした割安な保険料で充実補償をご提供します！

◆加入対象は、社協の会員である社会福祉法人等が運営する社会福祉施設です。

プラン1 施設業務の補償 (賠償責任保険、動産総合保険等)

① 基本補償(賠償・見舞)

▶ 保険金額		▶ 年額保険料(掛金)			
	基本補償(A型)	見舞費用付補償(B型)	定員	基本補償(A型)	
賠償事故	身体賠償(1名・1事故)	2億円・10億円	2億円・10億円	1~50名	35,000~61,460円
	財物賠償(1事故)	2,000万円	2,000万円	51~100名	68,270~97,000円
	受託・管理財物賠償(期間中)	200万円	200万円	100名以降1名~10名増ごと	1,500円
	うち現金支払限度額(期間中)	20万円	20万円		
	人格権侵害(期間中)	1,000万円	1,000万円		
	身体・財物の損壊を伴わない経済的損失(期間中)	1,000万円	1,000万円		
お見舞い等	身体・財物の損壊を伴わない経済的損失(期間中)	1,000万円	1,000万円		
	徘徊時賠償(期間中)	2,000万円	2,000万円		
	事故対応特別費用(期間中)	500万円	500万円		
	被害者対応費用(1名につき)	1事故10万円限度	1事故10万円限度		
	傷害見舞費用		死亡時100万円 入院時1.5~7万円 通院時1~3.5万円		

【見舞費用加算】
定員1名あたり
入所：1,300円
通所：1,390円

プラン2 施設利用者の補償
プラン3 職員等の補償
プラン4 法人役員等の補償

●この保険は全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約(賠償責任保険、医師賠償責任保険、看護職賠償責任保険、雇用慣行賠償責任保険、役員賠償責任保険、サイバー保険、普通傷害保険、労働災害総合保険、約定履行費用保険、動産総合保険、費用・利益保険)です。

●このご案内は概要を説明したものです。詳細は「しせつの損害補償」手引またはホームページをご参照ください。

団体契約者 社会福祉法人 全国社会福祉協議会
引受幹事(保険会社) 損害保険ジャパン株式会社 医療・福祉開発部 第二課
TEL：03(3349)5137
受付時間：平日の9:00~17:00(土日・祝日、年末年始を除きます。)

取扱代理店 株式会社 福祉保険サービス
〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F
TEL：03(3581)4667
受付時間：平日の9:30~17:30(土日・祝日、年末年始を除きます。)

県社協会員紹介

助け合い、支え合う、県社協の仲間を紹介します

群馬県立点字図書館

群馬県立点字図書館は、目の見えない・見えにくい方の図書館として、昭和48年に開設されました。点字図書館の事業は、①点字図書・録音図書の製作及び貸出、②点訳・音訳奉仕員の養成、③各種体験会の実施など、多岐にわたるサービスを提供しております。また、全国の点字図書館のネットワークを利用して、幅広い情報提供が可能です。

「点字図書館」というと、点字の本が並んでいる図書館をイメージされる方が多いと思いますが、実際には、点字図書だけでなく、人の声による録音図書も扱っています。


近年、著作権法の改定により、身体的な要因等から活字での読書が難しい方にも、点字図書館の資料を利用することができるようになりました。ご興味がある方がいらっしゃいましたら、点字図書館までご連絡ください。一緒に読書を楽しみましょう。



録音図書、録音図書再生・録音機器、点字図書

INFORMATION

令和6年度ぐんまボランティアフォーラム

日時：令和7年2月18日(火)13:30~16:00
会場：群馬県社会福祉総合センター8階 大ホール
(前橋市新前橋町13-12)
内容：・基調講演
「住民参加で高める地域力」(仮題)
・パネルディスカッション
「多様な主体による地域での支え合い・助け
合い活動」
講師：埼玉県立大学 准教授 川田 虎男氏
問い合わせ先：地域福祉課
TEL 027-255-6111
申込フォーム▶ 

福祉バス「愛の募金号」のご案内


本会では福祉バス「愛の募金号」を運行しております。研修会やレクリエーション、社会見学といった各種行事等にご利用いただけますので、ぜひご活用ください！



詳細はこちら!



第37回あすなる祭

主催：県知的障害者福祉協会、県社会福祉協議会
日時：令和7年3月7日(金)~3月8日(土)
・展示部門 7日 10:00~16:00
8日 9:30~15:00
・ステージ部門 8日 10:00~未定
(応募出演数による)
場所：ベイシア文化ホール(群馬県民会館)
(前橋市日吉町1-10-1)
内容：知的障害者(児)関係施設・事業所の利用者及び関係者による絵画・書道・写真・手工芸等の展示、演劇・楽器演奏・合唱等のステージ発表
問い合わせ先：県知的障害者福祉協会
TEL 027-255-6592 HP 

改正育児・介護休業法が施行されます

男女ともに仕事と育児・介護を両立できるようにするため、育児・介護休業法が改正され、令和7年4月から施行されます。

<主な改正内容>

- ★3歳以上~小学校就学前の子を養育する労働者に対し、柔軟な働き方を実現するための措置を講じることが義務化
- ★介護離職防止のための仕事と介護の両立支援制度の強化

詳細はこちら!

問い合わせ先：群馬労働局雇用環境・均等室
TEL 027-896-4739



福祉ぐんま

編集/発行

社会福祉法人 群馬県社会福祉協議会

*福祉ぐんまは、群馬県社協ホームページでもご覧になれます。

〒371-8525 (専用郵便番号)
群馬県前橋市新前橋町13-12
群馬県社会福祉総合センター内
TEL 027-255-6033 (代表)
FAX 027-255-6173
URL <https://www.g-shakyo.or.jp/>
発行日 令和7年1月1日

あとがき

日年にあたる2025年、あすなる祭が6年ぶりにリアル開催されます。日年は、脱皮をする蛇のイメージから「復活と再生」を意味し、新しいことが始まる年になるといわれているそうです。

「あすなる」は木の名前で、翌檜/明日檜などと書き、「明日は檜になる」という意味が込められており、将来の成長や前向きな心構えのシンボルとして多く使われています。

そんな「あすなる祭」に込められた想いや期待に応えられるよう検討を重ね、開催方法をリニューアルして実施することとなりました。年が明け、きっと多くの方が作品作りや練習等にラストスパートをかけていることでしょう。笑顔あふれるリアルイベントの復活と成功のため、私も裏方業務を笑顔で頑張ろう！

編集委員 県知的障害者福祉協会 常務理事兼事務局長 女屋 広之